

採択事業一覧

団体名	事業名（事業種別）	事業概要
エイドネット cafe	エイドネット cafe ・不登校、ひきこもりの方の社会復帰のための学び直しサポート事業 ・交流イベント、セミナー事業 （ピア交流）	エイドネット cafe（セミナー15回，屋外交流イベント1回，屋内交流イベント等随時） 「学び直し」を通して，ひきこもり当事者の得意とする分野や才能をスタッフ，ピアカウンセラー等と共に発見し，自己肯定感につなげる。 セミナーは「自分をより良く知る」「気持ちの伝え方」等をテーマに開催し，参加者同士のコミュニケーションや講師の話題提供により気づきを促し，「社会に貢献している」「人の役に立った」「自分とは違う考えがあることを知る」という経験を取り入れ，自己肯定感の再構築を積極的に促していく。
特定非営利活動法人 京都ARU	魅力のあるプログラム事業 （ピア交流）	折り紙講習（全12回），太極拳（全12回）等 ひきこもり状態を脱しようとする者や経験した者が集まり，参加者間の交流を通じて緊張をほぐしながら対人関係を構築し，継続的なプログラム参加により少しでも自己を理解し肯定できるようになり，一般社会へつながる力を身につけることを目標とする。
特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター	「歩」プロジェクト事業（あゆむプロジェクト） （ピア交流）	定期的実施活動・単発実施活動（90回以上） 「学食 walk」や「健康体操教室」等，年間を通して繰り返し実施する定期的活動を行う。一部はミーティングを実施し，参加者が意見を出して決定することも学びとして踏まえた活動とする。 動こうとするきっかけをいろいろな形で提案し，少しでも多くの人々がひとつでも気になって参加してみようと思えるように，飲食中心の交流活動から他団体イベントの参加，社会活動，行事への参加等を実施し，本人が社会の中で生きていく力につなげていく。
特定非営利活動法人 恒河沙母親の会	ピア交流事業（居場所事業） （ピア交流）	プログラミング教室，焚き火体験等（全23回） ニート，ひきこもり等，社会との接点を失いつつある若者に対して，自宅以外で安心して過ごせる「居場所」の提供を行うとともに，お互いに気持ちを共有しながらチームとして活動し体験することで，地域社会との接点や地域社会の輪に入っていくことを目指す。

団体名	事業名（事業種別）	事業概要
社会福祉法人 京都老人福祉協会 ワークパートナーYUI	安心ジョブチャレンジ事業 （安心ジョブチャレンジ）	清掃，リネン作業，厨房作業等（全104回） ひきこもり経験を有する若者，働くことへ自信が持てない方等を対象に，高齢者施設と障がい者が働く事業所を拠点に就労体験に取り組むことで，当該施設の利用者の方々等との関わりを持ち，コミュニケーション力の向上を養うとともに，本人に合った仕事を見出す機会とする。
特定非営利活動法人 若者と家族のライフプランを考える会	「アート・プロダクション6」～あなたの作品を製品に～ （安心ジョブチャレンジ）	就労に結びつくアート講座，イベントでの展示販売等 ひきこもり等社会不安がある若者を対象に，自分の興味ある分野（アート）を入り口とした社会参加・就職準備支援を行う。作品展企画などの具体的な目的を共有することにより，それぞれの特性を生かした役割を果たす体験をする。
東山区「不登校・ひきこもりを考える親の会」“シオンの家”	封入作業と交流会～社会参加へのステップ～ （社会体験活動）	京都市ボランティアセンターが発行する月刊機関紙等発送の封入作業及び作業への振返りと交流。（11回） 社会参加が困難な若者の自宅以外の最初に参加できる居場所として，作業というプログラムがあることで，会話が苦手な方でも安心してコミュニケーション中心の居場所に参加してもらう。また，軽作業ではあるが仕事へのイメージが持てる効果や自尊感情の向上も期待される。

（参考）

「NPO等民間団体の子ども・若者支援促進事業」は，社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者を支援する特定非営利活動法人その他の団体の実施する社会的自立に資する事業について，助成を行っています。

- ・募集期間：平成31年4月1日～4月21日
- ・選考委員会（面接審査）：令和元年5月14日
- ・事業実施：令和2年3月31日まで